木徳神糧㈱ 創業130周年迎え新たな飛躍へ

国内外に供給基地配備

グループ結集し事業拡大

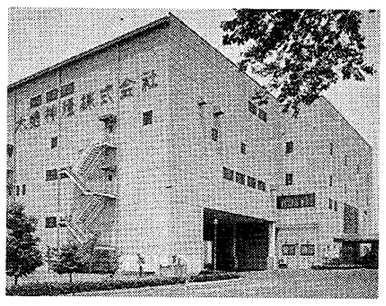
幅広い取引先招き盛大に式典

東京の大手コメ卸・木徳神糧㈱（平山惇社長、江戸川区）は、今年1月に明治15年の創業から130周年を迎えた。創業時は日本橋兜町の米穀買付問屋だったが、現在では東京本社と支店5カ所（東北・東海・関西・中四国・九州）に加えて▽精米工場6カ所（埼玉・神奈川・静岡・滋賀・岡山・福岡）▽製粉工場1カ所（新潟）▽海外拠点4カ所（米国・中国・ベトナム・タイ）――を擁し、海外事業も手がけている。年商は1023億円（コメは833億円）に及び、さらなる飛躍を目指す。

1月30日に帝国ホテル東京で開かれた「創業百三十周年祝賀会」には、米穀・米菓・和菓子・穀粉・加工米飯など国内外の取引先420人が出席した。大手量販店・コンビニ・外食などへの納入、3国間貿易・売買同時入札（SBS）およびミニマム・アクセス（MA）など海外事業までこなす同社の活動の幅広さが裏付けられた。

平山社長は取引先や自社OBに感謝の意を表しつつ、主食用米に加えて原材料米や飼料分野などに事業を拡大してきたことに言及。海外事業にも触れ、台湾やベトナムへの進出、米国USAライス連合会との長期取引、中国での事業開始も説明。「近い将来、日本米は輸出商品の花形になる。官民・JAで協力していけば海外から必ず評価される」と語り、業界一体での日本米の輸出態勢づくりを提起した。

来賓代表の村田紀敏㈱セブン&アイ・ホールディングス社長は、日付入り鶏卵の導入やプライベートブランド「あたたか米」などで半世紀近い取引を通じた食品部門への貢献を讃え、「今後も、ともに新商品開発へチーム・マーチャンダイジングを進める。新たな食の担い手として、さらに躍進を」とエールを送った。


埼玉の桶川工場「飛翔館」

▽130周年、誠におめでとうございます。明治から平成まで、いくたの困難を乗り越えての130周年です。木徳神糧役職員の先輩方々、私どもと取引させていただいている社員の皆さま方の力強さに心からお祝いを申し上げます。

▽私どもが木徳神糧さまと取引させていただいて約半世紀ですが、たいへん感慨深い出来事がありました。木徳神糧さまの技術をもって日付入り鶏卵をイトーヨーカ堂で発売させていただいたことです。

▽製造日を入れるということは当時、たいへん革新的な出来事でした。イトーヨーカ堂が昭和45年に、食品部門がヨチヨチ歩きの時代に、日付入り鶏卵を発売させていただいたことによって、お客さまから食品の鮮度に対し高い評価をいただきました。その後の食品部門の発展に大きく寄与していただいたことに、お礼を申し上げます。

▽現在では、私どものプライベートブランド「あたたか米」を木徳神糧さまと共同開発させていただいています。これは、単なる取引関係でなく、一緒に新たなものを作り出す取り組み、マーチャンダイジングによるものです。これからも一緒に新たな商品づくり、品質の高い商品づくりを目指したチーム・マーチャンダイジングを実行していきたいと考えます。

▽取引開始当時、イトーヨーカ堂は小さな1企業でした。今日では、セブン-イレブンをはじめ、ヨークベニマル、ヨークマート、さらにそごう西武と、いくつかの企業を集団とした企業集合体を結成できました。それぞれの事業会社においても、私どもの会社の名において木徳神糧さまと取引をいただいています。

▽昨年の東日本大震災で私どもも大きく被災しましたが、取引先の皆さまのお心遣いとご協力を受け、役職員一同で奮闘努力した結果、23年12月末決算は順当に終えられました。お礼申し上げます。

▽事業は主食用米が主力ですが、原材料用米も多く取り扱っています。米菓や和菓子、穀粉、加工米飯の各業界の皆さまに支えられ、今日があると思っています。コメ以外に飼料部門では大手の配合飼料メーカー、肥料メーカーの皆さまにお世話になっています。

▽今回の祝賀会には海外からも大勢おいでいただきました。弊社の戦後の海外事業は台湾から始まりました。台湾の台中でもち米栽培を始めたことがきっかけです。その後、タイで米粉メーカーとビジネスを始め、同じ時期、いまから二十数年前にベトナムに進出しました。初めてベトナムの肥沃なメコン・デルタを目の前にし、「これはやらねば」という気持ちになりました。当時、ベトナムに進出する日本企業は少ない実情でした。ギャンブル的な要素もありましたが、いまでは進出して良かったと思います。

▽その後、中国で仕事を始めています。遼寧省の鞍山（アンシャン）にあります鞍山百農と中国糧油食品有限公司（コフコ）の協力のおかげで、中国の事業も順調に進めています。アメリカでは、USAライス連合会との取り組みを契機に、ミニマム・アクセス米をはじめ長期に取り扱っています。

▽海外事業の中でベトナムではジャポニカ米を生産していますが、私どもはひと粒も日本に輸入していません。ベトナム国内の日本食関係、または第3国、具体的にはマレーシアやシンガポール、欧州の一部に輸出しています。

▽なぜ、このような取り組みをするのかと申しますと、近い将来、日本のコメは輸出の花形商品になると考えるからです。私どもだけではなく、官と民、JAグループ幹部の方々、皆で協力し合えば、日本のコメは海外でも十分に評価されると考えています。

▽短いあいさつではございますが、皆さまのご健康とご商売の発展を祈念し、あいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

平山惇社長あいさつ

取引先の支援に感謝

協力得て日本米を世界へ

食の担い手へ躍進を

セブン&アイ・ホールディングス　村田紀敏社長祝辞

▽今日の日本をみますと、目の前に多くの難題があります。今後も、いままで経験しなかった大きな変化が現れると考えています。これからの厳しい時代、1社だけで乗り越えられません。販売する私どもと、商品を供給いただく木徳神糧さまとが一緒になって、難題を乗り越えなければなりません。より強いチームを組んで品質の高い商品開発、販売とつないでいきたいと考えています。

▽木徳神糧さまの歴史をみますと、困難に対し不屈の精神、先取の精神、食を通して社会に貢献するという揺るぎない理念、誠意と感謝の気持ちを持って取り組まれた結果、本日の繁栄があると理解しています。新たな時代にふさわしい食の担い手としてのご躍進を祈念し、あいさつに代えさせていただきます。

ベトナムのアンジメックス・キトク合弁会社は、平成7年のSBSの資格、また10年のMA政府米輸入資格の取得に先行し、平成3年に設立。8年にキトク・アメリカ会社、20年にキトク・タイランド会社、23年に木徳（大連）貿易有限公司を設立し、海外事業を積極的に展開する。

24年に備前食糧、木徳九州、木徳東海の3子会社を合併・統合。グループを結集する態勢で新たなステージへの飛躍を果たそうとしている。

【木徳神糧の歩み】

1882年（明治15年）1月	二代目木村徳兵衛、米穀買付問屋木村徳兵衛商店を開業
1885年（明治18年）8月	木村徳兵衛、東京廻米問屋組合設立同盟者に加入
1894年（明治27年）	正米市場に近い旧深川区・佐賀町に店舗を新築、移転
1898年（明治31年）11月	一方で買い、他方で売りつなぐ「掛けつなぎ鞘取り」商売方針を確立
1909年（明治42年）2月	木村徳兵衛、東京廻米問屋組合行事（役員）に就任
1918年（大正7年）	堂島正米市場の利用を目的に中之島に大阪出張所開設
1919年（大正8年）8月	農務省より外米取扱商の指定を受ける
1919年（大正8年）8月	肥料・雑穀・飼料の取り扱い開始
1920年（大正9年）10月	株式会社木村徳兵衛商店に改組
1923年（大正12年）6月	木村徳兵衛、東京廻米問屋組合総行事（代表）に就任
1925年（大正14年）4月	岩手県江刺米の東京における一手販売開始
1929年（昭和4年）10月	三井物産、館野栄吉商店と日本配合飼料㈱を設立
1930年（昭和5年）10月	木徳精米所開設、旧深川区で精米小売を開始
1932年（昭和7年）10月	木徳製粉㈱設立、製粉業に進出
1932年（昭和7年）11月	埼玉県大宮市に木徳養鶏場開設
1933年（昭和8年）6月	政府所有外国米の海外売却委託商の資格を取得
1938年（昭和13年）7月	中国・奉天支店開設
1941年（昭和16年）11月	木村球四郎、社長に就任（二代目社長）
1942年（昭和17年）6月	日本橋に証券部設置、証券事業開始
1943年（昭和18年）6月	米穀配給統制法により米穀問屋業完全閉鎖
1943年（昭和18年）10月	信号発信機等を製造する富士測定器㈱設立
1947年（昭和22年）5月	証券事業部門を木徳証券㈱に改称
1950年（昭和25年）3月	㈱木村徳兵衛商店再発足。木村房五郎、社長就任（三代目社長）
1950年（昭和25年）4月	本社を銀座に移転、「銀座木徳」の呼称が定着
1950年（昭和25年）4月	日配飼料販売業務再開
1951年（昭和26年）3月	米穀配給の民営化により米穀卸売販売開始
1955年（昭和30年）1月	米穀部2部制を実施、産地対策と販売を分離
1958年（昭和33年）7月	配達機能を生かす缶詰・飲料等の「米屋のフードセット」販売
1960年（昭和35年）11月	三代目木村徳兵衛、社長に就任（四代目社長）
1964年（昭和39年）1月	木徳株式会社に社名変更
1967年（昭和42年）10月	プロイラー流通拠点として江戸川荷捌所開設
1969年（昭和44年）6月	梅原米穀㈱と共同出資で都米穀㈱を設立、小袋精米に対応
1969年（昭和44年）10月	自主流通米の取扱開始
1970年（昭和45年）6月	原材料用米の取扱開始
1971年（昭和46年）10月	米穀小売販売業者の新規参入開始により多くの新規取引先を獲得
1972年（昭和47年）10月	木村謙三、社長に就任（五代目社長）
1972年（昭和47年）	イトーヨーカ堂へ日付入り鶏卵納入
1975年（昭和50年）10月	石油危機による畜産不況の影響から再建5カ年計画スタート
1980年（昭和55年）3月	日配飼料売捌元業務返還
1982年（昭和57年）4月	創業100周年記念祝賀会開催
1986年（昭和61年）3月	立川精米工場竣工、共同経営から自社工場へ転換
1986年（昭和61年）5月	精米ブランド「雪国」発売
1991年（平成3年）7月	アンジメックス・キトク㈲設立（ベトナム）
1992年（平成4年）12月	木村良、社長に就任（六代目社長）
1993年（平成5年）4月	無洗米ブランド「楽しきわが家」発売
1994年（平成6年）6月	埼玉・桶川精米工場竣工
1995年（平成7年）4月	輸入米穀の特別売買（SBS）資格取得
1996年（平成8年）	キトク・アメリカ会社設立（米国）
2000年（平成12年）10月	神糧物産㈱と合併し、木徳神糧株式会社に社名を変更
2001年（平成13年）7月	株式公開、ジャスダック市場に上場
2002年（平成14年）7月	新潟製粉工場竣工、米粉業へ進出
2007年（平成19年）3月	平山惇、社長に就任（七代目社長）
2008年（平成20年）	キトク・タイランド会社設立（タイ）
2010年（平成22年）7月	香り米販売でタイ首相より「タイランド・ベスト・フレンド賞」受賞
2011年（平成23年）	木徳（大連）貿易有限公司設立（中国）
2011年（平成23年）3月	東北支店（仙台工場）、東日本大震災で被災
2011年（平成23年）5月	被災後、東北支店の営業活動再開
2012年（平成24年）1月	備前食糧㈱、木徳九州㈱、木徳東海㈱を吸収合併

【木徳神糧の会社概要】

商号	木徳神糧株式会社
創業	1882年（明治15年）
設立	1950年（昭和25年）
事業内容	米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
本店	〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22同和ビル
本社	〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 NFビル TEL03-5636-1501（代表）、FAX03-5636-1601
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-4-1福田ビル TEL022-266-3170、FAX022-266-3175
東海支店	〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町957-4 TEL054-364-9351、FAX054-364-9353
関西支店	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-28新大阪テラサキ第3ビル TEL06-6398-5668、FAX06-6392-0861
中四国支店	〒701-4241 岡山県瀬戸内市邑久町福元111-1 TEL0869-24-1717、FAX0869-24-2111
九州支店	〒811-0121 福岡県糟屋郡新宮町美咲1-1-16 TEL092-962-5647、FAX092-962-5941
桶川工場	〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷字楽上1117 TEL048-786-3358、FAX048-786-3735
本牧工場	〒231-0813 神奈川県横浜市中区かもめ町42 TEL045-621-5893、FAX045-622-2297
滋賀工場	〒529-1561 滋賀県東近江市稲垂町172-2 TEL0748-55-2500、FAX0748-55-2650
飼料事業部	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-11-11NOF横浜西口ビル TEL045-328-1570、FAX045-328-1580
新潟製粉工場	〒959-1923 新潟県阿賀野市勝屋字横道下918-125勝屋工場団地 TEL0250-61-2460、FAX0250-61-2463
代表者	代表取締役社長 平山惇
資本金	5億2,950万円
年商	2010年（平成22年）12月期 連結1,023億円 単体854億円
従業員数	2010年（平成22年）12月期 連結423人 単体167人（臨時雇用者を除く）
グループ会社	内外食品㈱、東洋キトクフーズ㈱、一番保険サービス㈱、キトク・アメリカ会社、アンジメックス・キトク㈲、キトク・タイランド会社、木徳（大連）貿易有限公司

お米は今日も、日本のあちこちで、
いろんな夢を育てています。

負けられない勝負に挑む朝も。くじけそうになった日の夜も。
この国に暮らす人々が、目標に向かって一生懸命努力するのを、
お米はいつも、食卓から見守ってきました。
時代が変わり、生活が変わり、人々の見る夢が変わっても、
主食として、ずっと変わらずに。

日本人にとって、お米は、夢へのエネルギーだから。
お米や穀物の販売・流通を通して、日本中のたくさんの食卓と、
そこで育まれる一つひとつの夢を、しっかりと支えていきたい。

創業当時から変わらない夢に向かって、
木徳神糧はこれからも、お米とともに歩んでまいります。

130th Anniversary
おかげさまで、木徳神糧は創業130周年。

□本店　〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル2階
□本社　〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6　TEL:03-5636-1501(代表)　http://www.kitoku-shinryo.co.jp
木徳神糧株式会社